

早稲田大学 商学部 英語 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	90分
特徴・その他	<p>読解問題 4 題と会話文問題 1 題の大問 5 題構成は昨年と同じで、全体の分量もほぼ昨年並み。レベルも昨年度とほぼ同程度と言えるだろう。70%程度を合格ラインと考える。その中で大きな変化は記述式問題の増加である。昨年度の記述式の問題は、語句(2語)の抜き出し問題 1 題と語句整序問題 4 題(語数は 8~11個)。記述式問題は一昨年から減少傾向にあったが、今年度は整序英作文 3 題、空所補充の条件英作文が 2 題、語句(6語)の抜き出しが 1 題となり、昨年度と違い、すべての大問で記述式の問題が出された。空所補充の条件英作文は 2 題とも基本レベルなので、ここでの失点は避けたいところ。整序英作文は語数が 10~13 と多く、また例年通り不足語(1語)もしくは不要語(2語)がある問題なので、焦るとなかなか正答にたどり着けないかもしれない。語句整序問題の対策として、語数が非常に多く、不足語・不要語ありの類題をたくさんこなして精度と速度を上げておく必要がある。すべての長文読解問題で出題されている類語問題では難単語や見慣れない表現も散見されるが、文脈から十分に推測は可能である。しかし、すばやく処理するためには、やはりその語や表現を直接知っているのが一番なので、合格には高いレベルの語彙力獲得が王道である。</p>

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	会話文問題	<p>例年通りの会話文問題。欠文補充問題は会話文では必須の設問形式。今年度も受験生にはあまり馴染みのない会話独特の表現が狙われた。会話の定型表現 Point taken.「おっしゃる通り」は、point に「要点、重要な考え」の意味があることを知っていればぎりぎり推測可能か。Never been better! は、会話問題で頻出の Couldn't be better.「最高だよ」から類似表現と判断できるはずだ。複数の候補で迷うことも多かったと思うが、迷ったらいったん保留して、他の空所とのバランスで取捨選択していくと良いだろう。類語選択問題では、go the extra mile や on the same page の意味を問われたが、どちらも直訳+文脈で推測可能なので慌てないで取り組んでもらいたい。3 で空所補充式の条件英作文が出題されたが、仮定法の基本形を知っていれば難なくできる問題である。</p>	標準
II	読解問題	<p>最近日本でも急速に増えてきた「セルフレジ」に関する長文読解問題。分量は昨年並み。「セルフレジの問題点でないもの」を選択する設問 1 の 2 では、本文で述べられているセルフレジ導入によって「起こると予想される結果」と「実際に起こった結果」を区別する必要がある。本問で問われているのは「実際の結果」である。たとえば、レジ前の列を短くするのは「予想」であって、現実には逆に長くなってしまったと述べられている。I と同様に空所補充式の条件英作文が出題されたが、こちらは直接話法から間接話法への書き換えがポイント。基本問題なのでここも確実に得点したい。</p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅲ	読解問題	「日本の謝罪文化」がテーマの長文読解問題。設問3の欠文補充問題がやや難しかった。本文は読みやすいうえに、例として取り上げられているガリガリ君の値上げCMや、うまい棒の値上げなどは最近大きな話題になったので、内容把握で背景知識を大いに利用できた受験生も多かっただろう。整序英作文は12語＋不足語を補って完成させるもの。整序英作文は不足語があると、正確な語法やイディオムの力が要求されるのでレベルは跳ね上がる。不足語に気づくかどうか成否の別れ目になる。本問では、助動詞 can に対して continue、ensure と動詞の原形と思われるものが2つあることに着目し、to を補い can continue to ensure とできるかどうかポイントだった。不足語ありの整序英作文は早めに訓練を始めてもらいたい。	標準
Ⅳ	読解問題	「運動後の食欲抑制効果を持つホルモン」がテーマの長文読解問題。自然科学系の文章で、今年度の4つの長文の中では1番難しかったと思われる。空所補充の設問1のiiでは ebb and flow を選択するが、これは直接的には「潮の干満」の意味だが、そこから「盛衰・増減」の意味で用いられる。これは「月の満ち欠け」の wax and wane と似た表現でいずれも頻出なので、未習だった受験生はこれを機に覚えておこう。Ⅳの語句整序は13語－不要語2語である。the key to understanding... 「…を理解するために鍵」や how を用いた名詞節がポイント。語数の多い語句整序問題は悩み始めると際限なく時間を浪費してしまうので注意が必要だ。	やや難
Ⅴ	読解問題	スマホを紛失したある男性の経験を例に挙げながらグローバリゼーションについて論じる長文からの出題。読みやすく、かつ興味深い内容の文章であった。Ⅴの記述式問題は語句抜き出し問題と整序英作文。6語を抜き出す問題は、下線の施された表現中の this から直前の内容を指すと容易に判断ができる。整序英作文は、他の2題よりも並び替える部分の意味「オレンジマンを探すのを助けようと申し出る中国人」が想像しやすいので、意味から組み立てるのが速くて確実かもしれない。語句整序英作文では複数の品詞を持つ語の処理がポイントになりやすい。本問では help を名詞で用いて offering him help とすべきだが、help を動詞で扱って help him finding (help O doing という語法は誤り)などとすると正答には到底たどりつくことはできない。	標準

[総合コメント]

全体として商学部は早稲田大学の中では解きやすい学部である。ただ、それでも時間内に解き終わるのは相当大変であり、しかも高得点の争いになるのは必至だ。いかにケアレスミスをなくすかが重要となりそうだ。今年度の傾向としては、記述式問題の増加と、昨年まで出題されていたTF式の問題がなくなったことが挙げられる。